

News Release (抄 訳)

プロトラブズ、2014 年および第 4 四半期決算、過去最高の売上高を記録 第 4 四半期の売上高、前年同期比 27.3%増の 5,610 万ドル 2014 年度の売り上げは、前年比 28.5%増の 2 億 960 万ドル

【2015 年 2 月 5 日】

米国ミネソタ州メープルブレイン発(ビジネスワイヤ)ーIT 技術を駆使したオンライン、短納期、オンデマンド製造システムで業界をリードする Proto Labs, Inc. (NYSE:PRLB)は、2014 年 12 月 31 日を末日とする 第 4 四半期および 2014 年度の決算を発表しました。

2014 年第 4 四半期のハイライト

- ・ 2014 年第 4 四半期の売上高は、前年同期の 4,400 万ドルから 27.3%増の 5,610 万ドルとなり、過去最高を記録しました。
- ・ 2014 年第 4 四半期のアディティブマニュファクチャリング(積層造形、3D プリンティング)の売上高は、昨年 4 月に買収を完了した Fineline によるもので、同社の 2013 年第 4 四半期の売り上げに対して 48%増の 390 万ドルでした。
- ・ 四半期ベースで過去最高の売上高は、弊社サービスを利用する製品開発者と設計者の数が Fineline サービスが対応する人数を含めて、40%増加したことによるものです。
- ・ 2014 年第 4 四半期の純利益は 1020 万ドルに増え、希薄化後の 1 株あたり利益は 39 セントでした。株式報酬費用(税引後)を除いた非 GAAP(米一般会計原則)ベースの純利益は 1,120 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 43 セントとなりました。「非 GAAP 財務指標」は文末のリンクをクリックをご覧ください。

Proto Labs, Inc. の社長兼 CEO、ヴィッキー・ホルトは次のように述べています。「第 4 四半期は 3 つの事業地域すべてにおいて、現地通貨ベースで過去最高の売り上げを達成し、好調だった 1 年 の堅調な締めくくりになりました。北米では Fineline を除いた売り上げは 23%増加しました。ヨーロッパの第 4 四半期の売り上げは前年同期比 10%増加し、日本の売り上げも現地通貨で前年同期比 25%伸びました。

2014 年は最高の年でした。業務面でも確実な進展を遂げ、財務面でも好調でした。売り上げは 28.5%増加し、売上高総利益率は 61.3% で、GAAP 営業利益率は 29% を維持し、初めての買収も成功させました。新たに 2 つの製造プロセスを追加し、10 種類もの新たな材料と対応能力を加えました。Fineline 含め、2013 年比 34% の増加となる 21,550 人の製品開発者や設計者にサービスと利用いただきました。Fineline を除くと、サービスを利用いただいた製品開発者や設計者は 20%増加しました。今後の成長戦略を展開するうえで非常に重要な取り組みとして、3 つのサービスすべてについて対応能力をアップするために、キャパシティ インフラに投資し、営業とマーケティング チームを増員しました。」

2014 年第 4 四半期その他のハイライト

- ・ 2014 年第 4 四半期の売上高総利益率は 59.9% (前年同期は 62.7%)となりました。減少の要因は、Fineline が既存のサービスよりも低い売上総利益率であることによる 80 ベースポイント、新たに提供を開始した新規サービスをサポートするための製造キャパシティと今後の成長への投資による 80 ベースポイント、為替レートによる 110 ベースポイントの影響です。
- ・ 2014 年第 4 四半期の研究開発費(Protoworks イニシアチブおよび Fineline 統合のための活動を含む)は 470 万ドル、売上高比率は 8.3% となりました。前年同期の研究開発費は 350 万ドル、売上高比率は 7.8% でした。
- ・ 営業とマーケティング費は 810 万ドルで 32% 増、売り上げの 14.5%で、売り上げを伸ばすために計画していた営業とマーケティングの増員によります。
- ・ 2014 年第 4 四半期の GAAP 営業利益率は 26.2%(前年同期は 31.5%)でした。

2014 年のハイライト

- ・ 2014 年の年間売上高は前年の 1 億 6,300 万ドルから 28.5%増の 2 億 960 万ドルでした。
- ・ 2014 年の純利益は 4,160 万ドルに増え、希薄化後の 1 株あたり利益は 1 ドル 60 セントでした。株式報酬費用(税引後)を除いた非 GAAP ベースの純利益は 4,520 万ドル、希薄化後の 1 株あたり利益は 1 ドル 73 セントとなりました。「非 GAAP 財務指標」は文末のリンクをクリックしてください。
- ・ 営業活動によるキャッシュフローは 5720 万ドルとなりました。現金および現金同等物ならびに投資額は 1 億 2,840 万ドルとなりました。

ヴィッキー・ホルト社長兼 CEO は次のように述べています。「2015 年は引き続き 3 つの成長ベクトルに基づく成長に注力します。1 つめは弊社のサービスを利用いただく新たな製品開発者や設計者を増やすこと、2 つめは既存の製造サービスの対応範囲を拡大すること、3 つめは新規プロセスの商品化です。Fineline の統合はまもなく完了しますが、他のサービスとの組み合わせの相乗効果を促進するクロス・セリングを実行するとともに設備投資を拡大したことで今後通年にわたってメリットが顕在化する見込みです。LSR(液状シリコーンゴム)およびメタルインジェクション(金属射出成形)を昨年開始しましたが需要が高まっています。昨年 4 四半期には旋盤加工を限定的に開始しましたが、2015 年第 1 四半期末までに本格的に開始する方向で順調に進んでいます。弊社のユニークなサービスが世界中の製品開発者や設計者の満足度を高め、認知度が向上するよう、トレーニングの行き届いた営業による対応と、さらに的を絞ったマーケティングキャンペーンを展開します。私はこの会社の潜在力と長期モデルをサポートする成長と収益性を実現できるチームの能力にたいへん自信を持っております。

米国本社発表の原文および要約連結貸借対照表掲載先:

<http://phx.corporate-ir.net/phoenix.zhtml?c=248039&p=irol-newsArticle&ID=2013865>

【お問い合わせ先】

マーケティング部

TEL: 0120-2610-25 または 046-259-9820 Email: info@protolabs.co.jp

プロトラブズについて

プロトラブズは、IT を駆使したオンラインテクノロジーにより、カスタムパーツの試作から小ロット生産を短納期およびオンデマンドで受託製造する会社です。米国、ヨーロッパと日本の拠点から、世界中の製品開発者に本物のパーツを、驚きの早さで届けています。切削加工 Firstcut(ファーストカット)、射出成形 Protomold(プロトモールド)、アディティブマニュファクチャリング(積層造形・3Dプリンティング)による短納期サービスを利用する設計者は 3D CAD ファイルをアップロードするだけで、製造性解析の図解を含んだオンラインの見積りを数時間で取得でき、プロトラブズのエンジニアと仕様の詳細をネットと電話で確認後、即発注できます。

日本でも 2009 年の開業以来すでに 1,600 社以上が利用しています。プロトラブズに関する詳細は、<http://www.protolabs.co.jp> でご確認いただけます。

*アディティブマニュファクチャリングは米国工場のみ。